

COPY FOR MEMBERS

To Club Presidents
and Secretaries in
DISTRICT 2790
2010-11

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 3



国際ロータリー会長
Ray Klingensmith

■ガバナー事務所
〒288-0041
銚子市中央町13-2 ヤシオビル3F
TEL 0479-26-3380
FAX 0479-25-6665
E-mail 10-11gov@rid2790.jp
URL <http://www.rid2790.jp>

こころの架け橋を

RI第2790地区
ガバナー

織田吉郎



作家の五木寛之氏はその著書の中で「最近の免疫学が一番興味深い点は生物の免疫系に『寛容』という活動を発見したことだ」と言っています。お母さんのお腹に50%他人の遺伝子を持った子が宿っても拒絶反応を起こさずに育ててゆけるのは「母体と胎児が折り合ってゆこうとする動きがあるからとしか説明がつかない」という免疫学者多田富雄さんの話を聞いての意見です。

私達は皆寛容の申し子としてこの世に生を受けているわけですが長ずるに従って急速に寛容の幅を狭めてゆきます。学校を舞台に今や常態的現象となった「いじめ」、職場まで汚染の拡がった「KY」という意識。KYとは「空気が読めない」という意味ですがその裏には「皆が同じで当然だ」という意識があります。他人と違う考え方をする人を許容しない社会、「平均値」や「世間」に対して心を配らない人を差別しようという意識、いずれも寛容とは対極の感覚です。

新世代をめぐる様々な社会現象はそのまま現代社会の病理に直結しています。私は終戦直後の生れですが、小学校時代東京にあっても貧困は身近なものでした。ボロを着て鼻をたらしいつもお腹を空かせている友達がいて、学校を休みがちな彼らを誘いにゆくのが私の朝の日課でした。皆が仲良く生きてゆくためには我慢が必要なことを知っていてお互いに助け合う強い絆がありました。戦後の復興期ですらそうでしたから戦前・戦中の絆の強さは想像に難くありません。

スタイル（様式）を磨こう

思えば人類500万年の歴史は飢餓との戦いがありました。しかし今、先進国では人類全史を覆すほどのパラダイムの大転換が起きました。人々が飢餓から解放されたのです。そしてこの変化は“自分を立派にすることが、より良く食べてゆく道”という目標をも減衰させてゆきま。立派な人にならなくても飢えることのない社会の中で若者は自分の立ち位置が決められずに、漠然とした自分探しの旅を始めます。まず既存の集団を離れ、強制的な圧力の一切を排除し、浮遊しながら仲間を探してみる。それが迷走の旅のスタートです。学校でははじめが深刻化し（仲間という場が絶対的な場）、不登校の増加（学校という枠にはめられたくない）、職場ではフリーターの増加（会社に束縛されたくない）、家庭では離婚、未婚の増加（家庭に束縛されたくない）、うつ蔓延（どこにも行きたくない）など社会問題になっているこれらの現象は国の発展途上時にはあまり見られないもので、先進国に多く見られる現象とってよいでしょう。こうして我慢をする力の衰えた若者は耐えながら相手の言うことに耳を貸す習慣を失ってゆきます。

先の規定審議会に於いて、第5の奉仕部門として新世代奉仕が採択されました。その是非をここで論じることは控えますが、私達は次代を託す新世代が寛容の心を育むこと、いや寛容の

ところを取り戻すためのプログラムに全力で取り組まねばなりません。

今年の国際協議会でオーストラリアのマイケル・マクィーン氏は世代を超えた交流の実をあげるためのノウハウについて、10～28歳をY世代と定義づけてY世代は野心的であり人前で背中をたたいて認めてあげること、人間関係が築かれていれば相手を尊重し尊敬もする、また意外に奉仕活動を重視する世代であることなど興味深いスピーチをしました。「自分に興味を持ってもらうために2年間の努力をするより、他人に興味を持つために2週間努力をするほうがより多くの友達を作ることができる」（カーネギー）

新世代を理解すること、そして付き合うための技術を身につけることも重要な要素となります。新世代が私達をなかなか理解してくれないと嘆いていても事態は何も変わりません。私達が新世代との間に積極的にこころの架け橋を築く努力を重ねることこそが求められています。

社会を正しい方向に導くためには私達が身近なところから行動を起こさねばなりません。学校教育に依存しすぎてきた日本の教育のひずみが様々な場面で露呈しています。家庭教育もさることながら社会教育のあり方について私達は今一度じっくり考えてみる必要があります。

国際ロータリー・ニュース



田中作次氏が2012-13年度RI 会長に選出されました

田中作次氏（第2770地区八潮RC／1994-95年度ガバナー）が、指名委員会により2012-13年度の国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、同氏は10月1日に会長ノミニートとなります。

詳細は、国際ロータリーのホームページをご覧ください。



社会奉仕委員会の取り組みとお願い

社会奉仕委員会

委員長 浜 名 賢 一

本年度の当地区社会奉仕委員会は、織田ガバナーの強いお気持ちもあって「環境」に特化した活動をする事になり「環境委員会」が設置されました。ここで私は5つのことを申し上げたいと思います。

第1は、地区としては「環境」に特化した活動を行ないませんが、各クラブには従来から各クラブで行なわれている社会奉仕活動に「環境」の視点を取り入れていただくようお願いしたいということです。「ロータリーの友」には7月号をお読みになってわかりますように、「環境ブーム」と言ってよいくらい、毎号環境に対する各クラブや地区の取り組みが掲載されています。当地区でもそれぞれの地域社会で重要な位置を占めている活動が沢山あり、それは尊重されるべきものです。そこに少しだけで良いですから、現在の社会奉仕活動に「環境」の視点を取り入れていただきたいのでございます。

次に、地区社会奉仕委員会には新世代部門が含まれております。先の規定審議会で、「新世代奉仕」がロータリーの第5奉仕部門として位置づけられました。新世代に関する三つの公式プログラム「RYLA」「インターアクト」「ローターアクト」の活動を進めながら、新世代部門でもその活動の中に「環境」を取り入れていただきたいと思っております。

第3は、さる7月10日に社会奉仕委員会セミナーを「環境フォーラム」として開催させていただいたことです。「環境」といいますとかなり幅広い内容を含んでおります。織田ガバナーは、「環境問題」を人類生存のための大きな課題、地球環境の保全ななく地球温暖化の防止、という観点からのロータリアンの認識を求めておられます。そこでセミナーでは各委員会からの情報提供に続いて、私たちが環境問題を考える上で忘れてならないこと・考えるべきことについて、京都伏見

ロータリークラブの田岡久雄様に基調講演をしていただきました。続いて、吉田環境委員長と2名のロータリー外の若手研究者によるシンポジウムを、ロータリーの友編集長の二神さんにコーディネートしていただきました。

これらを通じて、地球に生きる者の責任として、私たちが何をすればよいのか、何をなすべきなのか、さまざまな視点で考え、行動する、そのヒントを得ていただけたものと思っております。ぜひ各クラブの活動に生かしていただきたいと思っております。

第4は「ロータリーの社会奉仕」についてです。ロータリーの社会奉仕の基本は、ロータリーのモットー「超我の奉仕」にあります。織田ガバナーが強調されるロータリーの綱領にはその第3項に「ロータリアンすべてがその個人生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。」とあります。「奉仕の理想」について織田ガバナーは月信7月号で決議23-34の第1項に触れておられます。私たちは、それらを理解し、まず具体的に行動することが大切であります。ロータリーは奉仕団体ではありませんが「奉仕する人々の団体」であります。クラブという団体が行う奉仕活動であっても、基本は個々人の奉仕の心によるものです。ロータリアンとして、「環境」とりわけ地球温暖化防止のために今何をすべきか、何をするのか、個人で、家庭で、職場で、地域社会で、そしてクラブで何ができるのか、考えてみましょう。

最後に、社会奉仕委員会は、環境委員会を核として新世代部門や他の委員会のご協力もいただき、若い人々たちによる「環境」をテーマとした「模擬国連」の開催を企画しています。近日中に要項を発表したいと思います。一つの新たな取り組みとしてご参加いただきますようお願い申し上げます。



RYLA持つ意味

社会奉仕委員会 RYLA委員会
委員長 田中伸之介

私たちロータリアンは、幼いころ「お手伝い」をして来たのだろうか？生まれて間もない人間は、周囲の人々により守られ、又すべてのことをして貰って来ました。当然ながら成長するにつれ自分で自分の事が少しずつできるようになります。その時です。親は、自分の子供に簡単な「お手伝い」をわざと頼まなければならないのです。さて、この「お手伝い」とは何かというと、「初めての他人への奉仕」に他ならないはずです。物的に裕福になっている日本では、この「お手伝い」をしないで成長してきた若者や大人が多くいるのです。奉仕されることをあたりまえと思いついて、奉仕は、損であると感じるようになってしまっているのです。そのような世代の人たちに、「思いやり」「奉仕」の心を説いたところで受け入れてくれるだろうか。話をすればするほど若者は離れて行ってしまうような気がします。それではどのようにすれば私たちの思い伝える事ができるでしょうか。そこで国際ロータリー第2790地区のRYLAが長年試行錯誤により「歩行ラリー」形式での伝え方を編み出したといっても過言ではないのです。

このRYLA (Rotary Youth Leadership Awards) ロータリー青少年指導育成プログラムでは、自分達できずくことに重点を置いています。Awardには「審査して与える」「受賞する」という意味があり、セミナー終了後、修了証を与え将来の指導者の資質ある者として表彰し、優れたリーダーとなるように大いに努力してほしいという意味があります。

指導者とはどんな資質を持った人なのでしょうか。皆さんの脳裏に浮かぶだろう事柄を書きましょう。

1. 決断力がある
2. 物事を客観的にみられる
3. 思いやりがある
4. 相互の融和を図れる
5. 理解力がある (話を聞くことができる)

等々、まだまだたくさんあると思います。我々ロータリアンは、会社にいけば指導者であるはずで、又、広い社会においても数々の団体のリーダーをしている方も少なくないというよりもほとんど

がリーダーであるのです。

青少年がロータリーを理解しロータリアンになるためには、自らがリーダーたらんとしなければなりません。

当地区のRYLA歩行ラリーの原点は、昭和30年代にソニー厚木工場長をされていた小林茂さんという方が考案されたものと聞いています。彼は工場の活性化の為には働く人間の集団の「チームマネジメント」が重要であると考え「マネジメント改革」を実施し大きな成果をあげました。そして、氏は、「チームマネジメント」の手法を織り込んだゲーム方式の教育プログラムを開発しました。その基本理念は『ソニーの経営哲学「無のフィロソフィー」：矛盾こそ創造の源泉である』からきており、「固定的な既成概念に囚われることなく、客観的な事実状況を直視して方策を虚心に考え出すとのこと、その結論がたとえ世の中の一般的思考と異なっているとしても、勇気と情熱を持って実行すること」と教えている。キーワードは、六何の原則 (5W+1H)、体験重視 (百聞は一見に如かず、百聞は一験に如かず)、自主参加型 (青年は教えられる事を好まず、刺激されることを求める)、失敗から学ぶ (失敗を恐れず隠さずチームで研究し再度挑戦) 達成感などである。これを取り入れたのが当地区のRYLAセミナーである

セミナーでは、一泊二日の短い期間ではあるが、社会や会社の縮図をつくり、その中でどのように対応していかなければならないのか、どのように他人と接し説得する、又受け入れるのかを「歩行ラリー」を通じて見つけ出そうとするプログラムであり、失敗は必ず成功につながり、成功は更なる高みを目指そうとする気持ちを抱かせる事になるはずです。

RYLAセミナーでは、若者が社会人となるようにサポートし、布いてはその若者がロータリアンとなり、ロータリーを支えていき社会の指導者になると信じております。

今年度は、2月19日(土)・20日(日)の二日間「平成の名水100選・生きた水の里久留里」で「歩行ラリー」を行いますので、ご協力お願いいたします。



広めようインターアクト活動

インターアクト委員会

委員長 藤崎 泰裕

インターアクトの始まりは、1960年青少年の秘められた可能性を見出した当時のハロイドT.トーマスR I会長が、青少年に奉仕を奨励する方法を見つけ出し、青少年が地域社会に対して積極的に関心を持つよう促し、リーダーとして成長する機会を青少年に提供すよう、世界中のロータリークラブに呼びかけたことからです。

世界初のクラブが1962年に結成されてから48年、今日120カ国約11,000のクラブ、会員数は250,000人を超えています。最初のインターアクトクラブは米国フロリダ州、メルボルン高校の23名が集まり結成され、翌年、日本にも最初のインターアクトクラブが仙台育英高校に結成されました。

今日、インターアクトクラブ（IAC）は奉仕と国際理解に貢献する青少年のための、ロータリークラブ（RC）が提唱する世界的な団体になりました。

インターアクトという言葉は「International Action（国際的活動）」を意味します。

インターアクトの会員は、12歳から18歳までの青少年で学校または地域を単位としたクラブに所属します。

各クラブは、毎年少なくとも二つの主要な奉仕プロジェクトを実行します。

その一つは、地域社会に奉仕することで、もう一つは、世界理解の推進です。

インターアクターは、プログラムを通じて、楽しく意義ある奉仕活動を行いながら、リーダーとしての力を身につけ、新しい友人を作っています。このようにインターアクトクラブは、一般的な学校教育、社会教育には無いものをもっていますので、充実を図れば素晴らしい効果が期待できます。

いじめ、不登校、家庭内暴力、虐待、さらには自殺など、青少年にかかわる問題は長年なのに少しも解決の気配がありません。

申し上げるまでもなく次の時代を担う青少年を育成することは大人の責務です。

ロータリークラブでも奉仕活動の大きな柱として青少年育成活動に取り組んでいますので、学校や家庭、地域社会と協力し合いながら実のある取り組みを進めて行きたいものです。

ロータリーとしての青少年への取り組みは、イ

ンターアクト、ローターアクト、RYLAなどがありますが、その輪が大きくなったとは思えないのが現状です。

千葉県内にインターアクトクラブは16高校、ローターアクトクラブは9クラブがあります。しかし、会員は少数で活動の機会は限られた子どもたちにしか与えられていません。

取り組みの実効を高めるには、元より多くの学校のより多くの生徒に、より多くの青少年に支援する必要があると考えます。

どうぞ青少年育成活動にご理解を賜わり是非取り組まれますようお願い申し上げます。

青少年のこころを育てれば、明るい未来があると信じます。「インターアクトは、どのロータリークラブにも提唱することが出来、どの学校にも設立できます。」

ここで、インターアクトクラブをどのくらい提唱しているのか。提唱率の高い、低いを仮に20%を境として比べてみます。

2700地区（福岡・佐賀/長崎の一部）	54.2%
2830地区（青森）	52.5%
2630地区（岐阜・三重）	43.8%
2740地区（佐賀・長崎）	42.1%
2770地区（埼玉南東）	39.4%
2840地区（群馬）	34.0%
2520地区（岩手・宮城）	28.2%
2610地区（富山・石川）	27.7%
2680地区（兵庫）	26.0%
2710地区（広島・山口）	24.3%
2620地区（静岡・山梨）	24.0%
2660地区（大阪府北部）	8.2%
2820地区（茨城）	11.8%
2800地区（山形）	12.9%
2750地区（東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）	13.2%
2640地区（大阪府南部・和歌山）	14.4%
2580地区（東京・沖縄）	15.0%
2560地区（新潟）・2600地区（長野）	17.5%
2650地区（福井・滋賀・京都・奈良）	17.7%
2780地区（神奈川）	18.3%
2760地区（愛知）	18.5%
2790地区（千葉）	19.0%

インターアクトクラブの設立にご協力ください。



「ローターアクトクラブ」を 提唱しましょう。

ローターアクト委員会

委員長 長谷川 秀夫

ローターアクトクラブは、いわばロータリーの「青年部」です。18歳から入会でき30歳で卒業します。青年部にはいくつかの特徴があります。

一つ、若いメンバーとの交流。二つ、若人へ奉仕の理想をアピール。三つ、ロータリーメンバーの供給源。ですが、何よりも、私たちロータリアン自身がロータリーを学ぶ機会を我と彼とに提供できることが一番ではないでしょうか？

年を取ると若い時代を凌駕したような気分になりますが、今の若者から学ぶ点も数あります。また、彼らもロータリアンから学びたがっています。お互いの職業に興味を持ち、世代を超えた異業種交流を通じて、青少年を導く鑑となるのです。すべての始まりは「機会」でしかありません。

それでも、「機会」なくして始まりはありません。

ローターアクトクラブを提唱し、そして提唱し続けましょう。

それは、きっと地元でサッカークラブを作ると大した違いはないのです。

以下は、地区内でローターアクトクラブを提唱しているクラブです。

第2分区	船 橋 西	船 橋 西 R A
第2分区	船 橋 東	船 橋 東 R A
第3分区	市 原 中 央	市 原 中 央 R A
第5分区	館 山	館 山 R A
第6分区	茂 原	茂 原 R A
第7分区	銚子・旭・銚子東	千葉科学大学 R A
第9分区	印 西	印 西 R A
第10分区	柏・柏西・柏南	柏 R A
第11分区	習 志 野 中 央	習 志 野 中 央 R A

今年は、韓国との交流や他地区との研修を予定しています。ローターアクトの行事が、主に例会であるのは、ロータリーと同様です。その点においても、ロータリアンがどんどんアドバイスできるのがうれしいところなのです。

興味のあるフェローは、長谷川までご連絡ください。 hasegawa@asuka-law.jp



地球環境問題に 興味ありますか？

環境委員会

委員長 吉田 政紀

地球環境、この大切で大きくて難しい問題に今年度は取り組むことになりました。地球の長い歴史から見れば、人類が誕生してから今までの時間はほんの一瞬に過ぎないでしょう。そして、人類の生まれる以前には多くの生物が、その時々地球の環境に応じて生まれ、やがて環境の変化により滅んできました。人類は道具を持ち、文明を作り上げる過程で余りにも急激にエネルギーを使い、化石燃料を使いすぎました。その結果、人類は環境を自分にとって都合の悪い方向に作り変えてしまいました。このままでは、人類は破滅への道を進むこととなります。

地球にとっては人類が生きようが滅びようが大きな問題ではないのですが、我々は子々孫々まで、生き続けるという意志を持っています。

最近になり、国際レベルでの話し合いが為され、我が国にも色々な目標値が発表されています。

でも、根本的には我々ひとりひとりが（人類全体が）ライフスタイルを変えていかなければ、大きな成果は得られないのではないのでしょうか。

良識ある職業人の集まりであるロータリアンは、このような面でも手本になるような生活が出来ないのでしょうか。お考え頂けたらと思います。





14年ぶりに取り組んだ交換留学生の事業

鴨川ロータリークラブ

会長 古市 一 雄

ロータリー事業の中で、とりわけ交換留学生事業の大切さは、先輩ロータリアンからも言われ続けていました。しかし、いざ実施に向かうと様々な隘路があり実現性の困難さも、感じておりました。

取り組むきっかけとなったのは、文理開成高校がインターアクト大会を引き受けて、啓発されたような気がします。留学に興味を示し、希望する生徒が数名発生した中で、選抜した形で高梨亜美さんが決まりました。そして、受け入れ生徒として、米国カリフォルニア出身のケーリー・リントンさんが決まり、交換留学生の形が整ってから、久しぶり交換留学生事業として自覚がするようになってきました。この事業は、お隣の勝浦ロータリークラブで長く経験しており、私達は何度となくご指導を頂いたことを、付記しなくてはなりません。そして、事業推進に当たっては、当初予算では難しいところも発生し、途中で特別負担の徴収も会員の理解なくしては叶いませんでした。また、何よりホームスティ家族の存在です。鴨川ロータリーの場合は、会員家族、保護者家族、学校関係者の受け入れ家族等多くの協力者がこの事業を支え、さらに、ケーリー・リントンさんの例会への出席は、私達にとっても、本人にとっても交流できる良きコミュニケーションの場になりました。日本語の上達も例会出席する毎に上達していく姿は、代えがたいものでした。例会出席最後は、夜間例会となり、ケーリーさんの最後のスピーチとなりました。その中で彼女は、授業を受けた文理開成高校への御礼とホームスティ家族に対する御礼、そして、鴨川ロータリークラブに対する御礼を繰り返し述べ、参加者の涙を誘う場面も多くなりました。

高梨亜美さんの帰国報告会も、7月の例会の席上行われましたが、これも感動受けました。高校生という一番多感な時期での留学体験は、親にとってもまた学校にとっても冒険であったのかもしれませんが。しかし、留学先の米国ユタ州のシュガーハウスRCが受け入れのクラブとなり、地元のスカイライン高校での留学の成果で、亜美さんの成長の跡がはっきり伺えるスピーチでした。亜美さんは、留学が決まったときから抜群の英語力、そして、その英語力に加えて、文化、歴史等に磨きがかかり、何と例会での帰国スピーチは、日本語と英語の二ヶ国語で述べ、逆に私達のほうが翻弄されるぐらいでした。将来は、国際弁護士を目指すのだと言っていました。今度の留学で人権に関わる国際人権弁護士になるという目標を持ったようです。私達ロータリアンがどこからの援助も受けることなく、物心両面にわたる支援で、人づくりに貢献し国際性を持った人間形成が達成できれば、素晴らしいことであり、14年ぶりに取り組んだ成果は、十分に有り余るものがありました。会員諸氏はじめ、これまでの取り組みに対しての理解と協力に感謝する次第です。



高梨亜美さん（例会時スピーチ）

第5回打ち水・久留里の夕涼み ～めぐる水・水のめぐみ～

上総ロータリークラブ

2年前の当クラブ創立45周年の記念事業としてクラブで「チームマイナス6%」に参加しました。現在は「チャレンジ25キャンペーン」に引き続き参加しています。環境問題が騒がれる中、地域の環境事業に取り組んでいる企業の視察や、活躍されている団体の方の卓話をいただき見聞を広げました。昨年はクラブとして「マイ箸」「マイボトル」を会員全員に配布し、例会場の食事は「割り箸」の使用を止め、日々CO₂の削減を実感できるように行動しています。

クラブの町「久留里」は「平成日本の名水100選」に千葉県で唯一指定され、町のあちらこちらにある自噴井戸から湧出る水を汲みに来る観光客は後を絶ちません。今年度は、クラブ会員が中心となって行っている「上総公民館まちなみ塾」主催の「第5回打ち水・久留里の夕涼み 7月30日（金）午後6時から6時15分」に上総ロータリークラブも後援し、「久留里」の豊かな水の恵みも感謝すると共に、打ち水を通して「環境」や「地球温暖化」の問題にも目を向けることができると考えています。久留里商店街の各店舗が一斉に水を道路にまくと気温が1℃下がり、参加者からは毎年好評です。



に、打ち水を通して「環境」や「地球温暖化」の問題にも目を向けることができると考えています。久留里商店街の各店舗が一斉に水を道路にまくと気温が1℃下がり、参加者からは毎年好評です。

第28回 黒潮選抜大会

銚子東ロータリークラブ

平成22年8月1日・2日の2日間に渡り、銚子市桜井町公園少年野球場において東京・埼玉・茨城・そして地元千葉の1都3県から選抜された12チームによるリトルリーグ野球大会が開催されました。主催は銚子リトルリーグで銚子東ロータリークラブも後援しております。主催の銚子リトルリーグ会長・副会長などに銚子東ロータリーの会員が携わっている関係で銚子東ロータリーの会長が毎年始球式に参加し、野球少年達の応援をしております。今年は銚子リトルリーグ発団30周年となり大会も28回と年月を重ねました。野球の盛んな銚子の大会でありますので非常にレベルの高いチームが多く参加し、今年も全国大会出場を果たしたチームが3チーム参加しています。過去の参加選手の中にはレッドソックスの松坂大輔選手や元大リーガーで現在ロッテの井口資仁選手などプロで活躍している選手も多く、単独のリトルリーグの団体が主催している大会では非常に珍しい、大きな歴史のある大会です。

今年度の結果 優勝 東京北砂、準優勝 銚子、3位 東京中野でした。選手の皆さんお疲れ様でした。

黒潮選抜以外にも銚子ロータリー・東ロータリー後援の第36回関東近県中学生野球選抜大会が銚子市宮球場で8月21日・22日開催されました。



開会式風景



左から澤田リトル会長、長谷川東R幹事、杉山リトル副会長

行事予定 (9月)

7日(火)	ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	グランドプリンスホテル新高輪 (10日まで)
8日(水)	ロータリー財団委員会 第3回委員会	ペリエホール 18:00～
9日(木)	第23回インターアクト国外研修	～13日(月) 大韓民国釜山市
11日(土)	ロータリー情報研究会・第13分区	13:00～15:30 野田東武ホテル
12日(日)	米山奨学生と地区内関係ロータリアンとの懇親会	17:00～19:00 ペリエホール
20日(月)	ロータリー情報研究会・第7分区	14:00～16:00 黄鶴
24日(金)	ロータリー情報研究会・第3分区B	14:00～17:00 オークラ千葉ホテル
26日(日)	ロータリー情報研究会・第5分区	14:00～16:30 たてやま夕日海岸ホテル
28日(火)	ロータリー情報研究会・第3分区A	15:00～17:30 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張

文庫通信 (275号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

～ 地区大会講演より ～

- ◎「ロータリーの歴史をふまえて」 南園義一 2010 2p (D.2770)
- ◎「UNDP親善大使として、見たこと、感じたこと」 紺野美沙子 2010 2p (D.2770)
- ◎「日本人のここから」 徳川恒孝 2010 10p (D.2590)
- ◎「日本のこれから」 藤原正彦 2010 4p (D.2590)
- ◎「世界の水問題」 金杉 誠 2010 6p (D.2590)
- ◎「先人に学ぶロータリーの心 日本人の職業倫理」 島田燁子 2010 3p (D.2530)
- ◎「先人に学ぶロータリーの心 江戸時代の京都商道～石門心学とロータリー」 木戸邦考 2010 4p (D.2530)
- ◎「現代に生かす 戦国武将の知恵」 松平定知 2009 8p (D.2800)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
 TEL: 03-3433-6456 FAX: 03-3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
 開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

お知らせ

ホームページの利用方法をCDに
 まとめました。
 ガバナー事務所に有りますので、
 ご利用下さい

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

年次寄付 (ポール・ハリス・フェロー)

氏名	クラブ名
泉水孝夫	市原RC
羽良好子	市原RC
菊地政廣	市原RC
伊藤英樹	市原RC
高澤豊昭	市原RC
檜垣可子	市原RC
山本順也	市原RC
常澄明男	市原RC
篠田美幸	市原RC
宮地勝廣	市原RC

氏名	クラブ名
澤井謙一	市原RC
三宅豊	市原RC
万崎英正	市原RC
平野哲也	市原RC
岡本和也	市原RC
西村芳雄	市原RC
福原義一	市原RC
佐久間崇夫	市原RC
上野聡	市原RC
増田尚隆	市原RC

年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

氏名	クラブ名	回数
由川 久子	習志野 RC	5 回目
竹尾 白	千葉南 RC	5 回目
時田 轟	市原中央 RC	4 回目
山田 守	市原 RC	1 回目
山崎 邦夫	市原 RC	1 回目
鶴岡 護夫	市原 RC	1 回目
佐藤 勇	市原 RC	1 回目
小池 清二	市原 RC	1 回目
加藤 利夫	市原 RC	1 回目
津留 起夫	市原 RC	1 回目
藤谷 泰弘	市原 RC	1 回目
千葉 精春	市原 RC	1 回目
小川 長二	市原 RC	1 回目
深川 貴夫	市原 RC	1 回目
齋藤 榮志	市原 RC	1 回目
蔵内 玲子	市原 RC	1 回目
長田 博正	市原 RC	1 回目

年次寄付 (ベネファクター)

氏名	クラブ名	回数
佐藤 廣子	大網 RC	1 回目

米山記念奨学会寄付

氏名	クラブ名	回数
平山 金吾	成田 RC	54 回目
宮崎 仁	習志野 RC	23 回目
市村 公道	成田 RC	10 回目
太田 和夫	千葉南 RC	8 回目
小林 通成	習志野 RC	8 回目
矢崎 康男	船橋西 RC	7 回目
鳥飼 三津男	習志野 RC	6 回目
藤井 毅	佐倉 RC	5 回目
渡邊 隆	沼南 RC	3 回目
新田 辰吉	沼南 RC	1 回目
安岡 聖剛	船橋西 RC	1 回目
板倉 孝雄	大網 RC	1 回目

新ロータリアン (敬称略)

 後藤浩一郎 (柏西 RC) 老人ホーム 5月7日入会	 神戸敏文 (船橋西 RC) 商業銀行 5月28日入会	 佐竹章行 (船橋西 RC) 生命保険 6月25日入会	 手塚昭宏 (勝浦 RC) 居酒屋 7月2日入会	 武山 徹 (市原中央 RC) 設備清掃業 7月2日入会
 小林 隆 (市原中央 RC) 地方銀行 7月2日入会	 赤木靖春 (旭 RC) 大学 7月2日入会	 山本博久 (成田コスモポリタン RC) 農業資材販売 7月2日入会	 田中英之 (成田コスモポリタン RC) 惣菜製造 7月2日入会	 加瀬間明彦 (成田コスモポリタン RC) 日本料理 7月2日入会
 湯浅健司 (松戸東 RC) 建築 7月2日入会	 前原佳代 (木更津 RC) 印刷 7月2日入会	 吉川敏孝 (木更津 RC) 環境衛生 7月2日入会	 萱野文雄 (木更津 RC) 不動産業 7月2日入会	 長原正夫 (成田 RC) 広告代理業 7月2日入会
 阿部博文 (千葉 RC) 解体工事 7月5日入会	 小川順一 (市原 RC) 普通銀行 7月7日入会	 佐藤正典 (八千代 RC) 証券業 7月9日入会	 河内康彦 (千葉 RC) 信用金庫 7月12日入会	 米本 信 (千葉 RC) 全国放送 7月12日入会
 笹本俊雄 (八千代 RC) 地方銀行 7月16日入会	 飛田 勤 (松戸 RC) 鉄道輸送 7月21日入会	 鈴木昌広 (松戸 RC) 地方銀行 7月21日入会	 小倉敏克 (千葉中央 RC) 能楽師 7月22日入会	 鈴木政彦 (千葉南 RC) 普通銀行 7月23日入会
 山口 浩 (千葉南 RC) 電気事業所 7月23日入会	 渡邊治雄 (柏西 RC) 商業銀行 7月23日入会	 牛山秀雄 (茂原 RC) 普通銀行 7月29日入会	 水嶋和彦 (木更津 RC) 商業銀行 7月29日入会	 松崎任宏 (船橋西 RC) 電気供給 7月30日入会
 宮沢孝幸 (船橋 RC) 商業銀行 8月3日入会	 平野省二 (成田 RC)			 瑞宝単光章 (敬称略)

国際ロータリー第2790地区（千葉）出席・会員数報告（2010年7月分）

分区	クラブ名	出席率 %	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区	市川	100.00	4	48	0	49	0	1
	市川東	96.88	4	42	1	42	1	0
	市川南	78.00	4	17	1	17	1	0
	浦安	92.40	5	41	0	41	0	0
	市川シビック	80.39	3	38	0	38	0	0
	浦安ベイ	88.10	5	21	0	21	0	0
第2分区	船橋	98.96	4	24	0	24	0	0
	船橋西	85.85	5	48	4	48	4	0
	鎌ヶ谷	88.99	5	25	2	25	2	0
	船橋東	93.35	5	31	5	30	5	-1
	船橋南	84.50	3	25	2	25	2	0
第3分区A	船橋みなと	86.71	4	26	7	26	7	0
	千葉	89.12	3	65	0	68	0	3
	新千葉	88.03	4	47	0	48	0	1
	千葉西	78.33	4	50	5	51	5	1
	千葉中央	84.68	5	37	0	38	0	1
	千葉幕張	80.32	4	32	4	32	4	0
第3分区B	千葉東	85.50	3	28	3	28	3	0
	千葉若潮	93.55	5	30	0	31	0	1
	千葉南	86.84	5	37	4	39	4	2
	市原	84.09	4	43	3	43	3	0
	千葉港	68.89	5	29	0	29	0	0
	市原中央	88.47	4	50	1	52	1	2
第4分区	千葉北	79.98	4	22	1	22	1	0
	千葉緑	92.59	5	27	2	27	2	0
	木更津	86.67	5	41	3	45	4	4
	上総	81.00	5	19	0	19	0	0
	富津	88.26	4	19	1	19	1	0
	富津中央	88.18	5	22	0	22	0	0
	木更津	95.20	4	40	0	40	0	0
	君津	94.59	3	39	2	40	2	1
第5分区	袖ヶ浦	90.67	3	28	3	28	3	0
	富津シティ	81.57	4	19	0	19	0	0
	館山	89.62	4	56	4	56	4	0
	鴨川	91.89	3	27	2	28	2	1
	勝浦	87.37	5	42	8	42	8	0
	千倉	88.20	5	16	1	17	2	1
第6分区	鋸南	89.22	5	13	1	13	1	0
	館山ベイ	67.50	5	24	0	24	0	0
第6分区	茂原	83.40	4	58	2	59	2	1
	東金	85.86	4	25	0	25	0	0
	大原	82.70	5	15	1	15	1	0

分区	クラブ名	出席率 %	例会数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区	大多喜	84.59	4	13	1	13	1	0
	成田空港南	100.00	4	40	0	41	0	1
	茂原東	83.03	4	28	3	28	3	0
	茂原中央	79.92	4	22	2	22	2	0
	大網	71.56	4	29	1	29	1	0
	東金ビュー	71.60	5	26	1	28	2	2
第7分区	銚子	89.76	4	44	2	44	2	0
	旭	84.00	4	45	1	46	1	1
	八日市場	87.35	4	44	2	44	2	0
第8分区	銚子東	84.38	4	33	0	33	0	0
	佐原	81.08	5	45	0	46	0	1
	多古	94.12	3	19	0	19	0	0
第9分区	小見川	91.25	4	23	0	22	0	-1
	佐原香取	74.20	3	26	0	26	0	0
	成田	79.39	5	58	0	59	0	1
第10分区	八街	94.01	4	39	1	39	1	0
	印西	70.72	4	28	0	28	0	0
	白井	60.00	3	15	0	15	0	0
	富里	85.30	4	27	0	27	0	0
	成田コスモポリタン	78.82	4	60	0	62	0	2
	柏	79.80	4	44	9	44	9	0
第11分区	我孫子	74.40	4	26	0	27	0	1
	柏西南	83.21	5	51	3	53	3	2
	沼南	92.00	5	23	1	23	1	0
	柏南	86.60	4	29	3	30	3	1
	習志野	78.36	4	38	1	38	1	0
	八千代	84.00	5	46	0	48	0	2
第12分区	佐倉	78.85	4	13	2	13	2	0
	八千代中央	83.10	4	27	0	27	0	0
	四街道	84.12	4	22	3	22	4	0
	習志野中央	82.73	4	39	6	42	6	3
	佐倉中央	64.28	4	14	1	14	1	0
	松戸	87.65	4	48	0	52	0	4
第13分区	松戸東	92.90	5	53	0	54	0	1
	松戸北	88.80	4	40	0	40	0	0
	松戸中央	64.09	5	41	2	41	2	0
	松戸西	92.06	3	21	0	21	0	0
第13分区	野田	80.27	3	49	4	49	4	0
	流山	78.92	5	19	4	19	4	0
	野田東	85.60	4	32	0	32	0	0
	流山中央	80.00	4	23	2	23	2	0
	野田セントラル	83.00	4	25	0	25	0	0

物故会員 (敬称略)



塩田 敬司 (勝浦RC)
 逝去日: 2010年6月28日 (享年90歳)
 入会日: 1963年4月
 ロータリー歴
 1967~1968 クラブ会長
 1978 創立15周年実行委員長
 マルチプルボールハリスフェロー
 ベネファクター
 米山功労賞



刈込 碩弥 (富津中央RC)
 逝去日: 2010年8月1日 (享年91歳)
 入会日: 1966年10月
 ロータリー歴
 1966 クラブ幹事
 1969 クラブ会長
 1985 第4分区代理



早川 悦夫 (浦安RC)
 逝去日: 2010年7月21日 (享年82歳)
 入会日: 1981年2月
 ロータリー歴
 1969 市川東RC入会
 1976 市川南RC (チャーター会員)
 1976 初代クラブ幹事
 1977 クラブ会長
 1981 浦安RC (チャーター会員)
 1981 初代クラブ会長
 1986 第1分区 分区代理
 1990 創立10周年実行委員長
 1990 創立25周年実行委員長
 マルチプルボールハリスフェロー
 ベネファクター・米山功労賞

クラブ数 84RC
 2010年7月1日 地区会員数 2,773人
 2010年7月末日 地区会員数 2,813人
 2010年7月1日 地区女性会員数 128人
 2010年7月末日 地区女性会員数 132人
 当月平均出席率 84.48%
 増減 +40
 女性会員増減 +4

9月のロータリーレポート
86 円



国際ロータリー 第2790地区 2010-11年度 地区大会のご案内



10/4
(月)

地区大会記念ゴルフ大会

レインボーヒルズカントリークラブ
(銚子市諸持町861番地)



** 登録料 **

会 員 20,000円
配偶者 18,000円

〔キャディ・昼食・パーティー〕
〔乗車カート・賞品代込〕

11/6
(土)

本会議一日目

犬吠埼京成ホテル (銚子市犬吠埼9575番地)

タイムスケジュール

13:02 点鐘
16:05 基調講演「ロータリーの危機」
17:33 点鐘
18:00 RI 会長代理歓迎晩餐会

本州で、一番早く初日の出の見える犬吠埼に建つホテル。



◆◆ プロフィール ◆◆

RI会長代理 **田中 毅** 氏 (眼科医)
尼崎西ロータリークラブ所属
RI 2680地区 1996-97年度パスト・ガバナー
元 ロータリー・ジャパン・ウェブ 委員長
元 大阪国際大会 インターネット委員長
ロータリー囲碁同好会 名誉会長
ロータリー歴史と伝統の会 理事
2001年、2004年規定審議会 代表議員座長
元 RRVF、テクノロジー、失明回避友情促進と親睦、
識字率向上、ロータリー家族
各ゾーン・コーディネーター
2007年 RI超我の奉仕賞受賞

* RI 会長代理歓迎晩餐会登録料 *

会 員 12,000円
配偶者 12,000円

アトラクション

ムジカ・トウキョウ・サロン・オーケストラ

